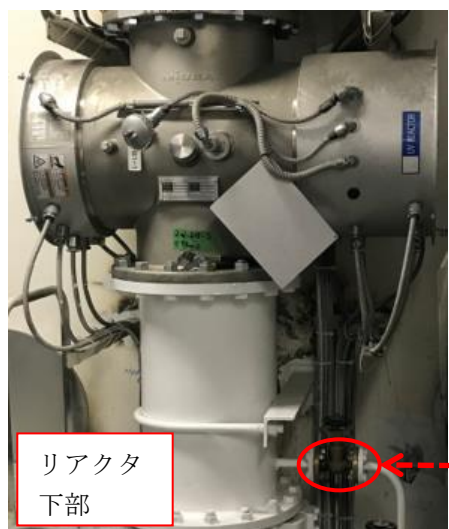
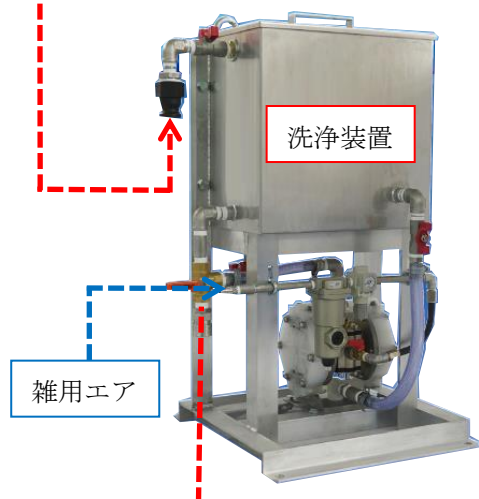


洗浄装置によるリアクタ洗浄方法

- ①洗浄装置を準備してください。
- ②洗浄装置とリアクタを装置付属のホース・継手で接続してください。また、船内の雑用エアをエア駆動ポンプへ接続してください。



- ③洗浄装置のタンクへボールタップにて供給が止まるまで清水を張り込んでください。



- ④清水張り込み後、装置の配管を洗浄装置側とし、エア駆動ポンプを作動させて、タンク水位が約5分間安定するまで循環運転してください。
※水位の調整はエアレギュレータの供給圧力で調整出来ます。



- ⑤循環運転しながら、表1を参照し、タンクに洗浄剤（スケールデストロイヤー）を溶かしてください。表2を参照し、フィルタ出入口フランジから各バルブ（V2,V3）までの配管長さ分の洗浄剤も追加してください。
※1回の投入は2kgずつとしてください。
- ⑥ボールタップから出ている戻り水のpHを計測し、pHが2~3になれば、装置を停止し、静置してください。
- ⑦静置時間経過後、装置の配管をタンク戻り側とし、エア駆動ポンプを作動させてユニット内循環してください。
- ⑧循環運転しながら、表1, 2を参照しタンクに中和剤を溶かしてください。
※1回の投入は2kgずつとしてください。
※水温を25~30℃にすると溶解し易くなります。
- ⑨装置の配管を洗浄装置側とし、中和剤を循環させてください。ボールタップから出ている戻り水のpHを計測し、pHが6~7になれば、装置を停止してください。
- ⑩リアクタ内や前後配管内の水を排水してください。排水は廃液処理国の法律に従って廃液処理をしてください。
※中和剤投入後は速やかに排水してください。

表1.リアクタ数量による洗浄剤及び中和剤投入量

リアクタ数量	8時間静置	24時間静置
1台	1kg(0.5袋)	1kg(0.5袋)
2台	2kg(1袋)	1kg(0.5袋)
3台	2kg(1袋)	2kg(1袋)
4台	3kg(1.5袋)	2kg(1袋)

表2.フィルタ出入口配管長による洗浄剤及び中和剤投入量

配管口径	8時間静置	24時間静置
250A	0.4kg/m	0.2kg/m
300A	0.6kg/m	0.3kg/m
350A	0.8kg/m	0.4kg/m
400A	1.0kg/m	0.5kg/m
450A	1.2kg/m	0.6kg/m

【注意】

- ・海水使用時は洗浄剤及び中和剤の量を1.1倍にしてください。
- ・中和剤を投入時、化学反応によって洗浄装置タンク内の水が噴き出す可能性が有りますので、保護具を着用して作業ください。
- ・短時間での洗浄を推奨します。